

議 事 要 旨

会議名	第 29 回 町田市子ども読書活動推進計画推進会議		
日 時	2025 年 7 月 1 日 (火) 14:00~15:40	場 所	中央図書館 ホール
出席者	吉成委員 大石委員 輪田委員 兼子委員 松井委員 長尾委員 福田(有)委員 島崎児童青少年課長 田中子育て推進課長 伊藤教育総務課長 江上指導主事(指導課長代理) 中嶋図書館長 【事務局】本郷副館長 根岸担当課長 明楽企画・地域支援係係長 野口サービス係担当係長 小林主事 吉田主任 野木主任 廣瀬主事	欠席者	福田(比)委員 櫻井委員 大山委員
項 目	議 事 内 容		
◎開会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠確認 ・ 資料確認 ・ 中嶋図書館長挨拶 <p>・ 本会議は、「第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度取組結果について」「第五次町田市子ども読書活動推進計画 2025 年度取組予定について」それぞれの報告及び情報交換を趣旨とする。</p>		
◎議題 1	<p>【第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度取組結果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2 を用いて、各取組担当課から、第四次町田市子ども読書活動推進計画 2024 年度取組結果の報告を行った。 <p>(事務局)</p> <p>各取組の自己評価の基準は、『A: 予定以上に取組めた、B: 予定通りに取組めた、C: 予定よりも取組めなかった』となっている。</p> <p>○「基本目標 I」についての報告 (図書館)</p> <p>●1-1 図書館でのおはなし会</p> <p>全館の担当者打合せを 7 回行った。今後英語のおはなし会を行うことを検討するために、職員向けのおはなし会講座を開催した。おはなし会参</p>		

加者は、戻ってきてはいるが、コロナ前の水準には、まだ届いていない。

(子育て推進課)

●1-2 「子育てひろば」でのおはなし会

おはなし会を昨年度と同水準の回数開催できた。子育てひろば事業の一つとして、乳幼児向けおはなし会を行っている。町田地域と鶴川地域子育て相談センターで行っている「スポットタイム」では、利用者の多い時間帯に予告なしで絵本の読み聞かせを行った。

(児童青少年課)

●1-3 学童保育クラブでのおはなし会

中央学童保育クラブでは、毎週おはなし会を開催している。おはなし会では、高学年の児童に読み聞かせをしてもらい、伝える楽しさを知ってもらっている。

(事務局)

「基本目標Ⅰ」の主な取り組みは、子ども向けおはなし会の実施や子どもへの読書活動普及などがある。

各取り組み項目の自己評価としては、16項目中3項目がA、13項目がB評価だった。

取組結果としては、2023年度と同水準でおはなし会や講座などのイベントを実施することができた。A評価とした取組では、学童保育クラブ支援員を対象とした、絵本の読み聞かせ講座を開催したり、ショートショートコンクールに伴い開催する「書き方講座」の回数を増やし、受講者が増加したりするなど、読書活動普及のための機会を増やすことができた。

○「基本目標Ⅱ」についての報告

(子育て推進課)

●2-3 公立保育園および地域子育て相談センター

ほぼ毎日保育士による読み聞かせを行っている他、園児に本を選んで読んでもらい、選んで読む楽しさを教えている。鶴川地域子育て相談センターでは、貸出用の本がある。利用者からも好評である。

(教育総務課)

●2-7 学校図書館の蔵書整備

各小中学校の担当者や指導主事、市立図書館の担当と共に、町田市立学校図書館図書廃棄規準を策定した。学校図書更新比率目標達成校が、小中学校併せて41校となり、目標の31校を超えた。

(事務局)

「基本目標Ⅱ」の主な取り組みは、図書資料の整備や学校図書館の充実、保護者に向けた読書イベントの情報発信などがある。

各取り組み項目の自己評価としては、15項目中、A評価が1つ、B評価が14だった。

取組結果としては、図書資料の充実に向けて、新規購入にあたり子どものリクエストを募ったり、図書館の団体貸出や学校図書館支援貸出を活用したりするなど、図書の充実を図ることができた。また、情報の発信時には、トップページのスライダーの活用や、イベント情報をまとめた専用ページを作るなど、分かりやすい情報発信を心がけた。

英語多読について、新しいチラシによる周知、全2回の連続講座という初めての形式での講演会開催ができたため、A評価となっている。

最後に、前回兼子委員からいただいたご意見への対応状況について報告する。前回「大型絵本の一覧表をホームページからできるようにしてほしい」と意見があった。対応状況を図書館から説明する。

質疑応答

(図書館 野口担当係長)

大型絵本リストは図書館ホームページの「こどもページ」にて掲載している。また、ボランティアとの打合せの際も情報共有するようにしている。

(質問：兼子委員)

仲間に共有する。ただ、ホームページが見にくくなったという話が出ている。一覧表の場所も分かりづらい。本の検索も、探したい本の名称を入れても検索上位に出てこない。

(回答：図書館 小林主事)

検索については、トップのキーワード検索だと出づらいため、「資料を探す」から検索していただくと良い。詳細検索も使ってほしい。

○「基本目標Ⅲ」についての報告

(指導課)

●3-1 学校図書館担当者研修

集合研修を1回、各校に訪問しての研修を2回行った。

(図書館)

●3-4 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施

●3-5 図書館おはなし会ボランティアの養成

市民向け読み聞かせ講座を計3回行った。基礎編は、本の選び方・技術

の講座で、実践編は、実際に本を選び読み聞かせをしてもらう講座。中央図書館以外の地域館でも行った。

11月に中央図書館で3回おはなし会ボランティア養成講座を開催した。

(事務局)

「基本目標Ⅲ」の主な取り組みは、学校図書に関わる人への研修や保護者等への講座、読み聞かせボランティアの育成がある。

各取り組み項目の自己評価としては、6項目中B評価が5つ、C評価が1つだった。

取組結果として、概ね2023年度と同水準で学校関係者への研修や保護者等への講座を実施することができたことでB評価が多くなった。

文学館おはなし会ボランティアの養成について、外部講師を招いた研修会が実施できなかったこと、ボランティアメンバーの新規募集が実現しなかったことから、C評価となっている。

・報告書(案)を承認し、内容を確定した。

◎議題2

【第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度取組予定について】

・資料3を用いて、事務局から、第五次町田市子ども読書活動推進計画2025年度取組予定について説明した。

○「基本目標Ⅰ」について

(児童青少年課)

●1-3 学童保育クラブのおはなし会

おはなし会を実施できていない学童保育クラブもあるため、図書館の読み聞かせ講座等を周知して、この取組を広げていきたい。

(子育て推進課)

●1-5 「子育てひろば」のおはなし会

乳幼児のうち、保育園に通っていない子どもを対象としている。少子化の上、保育園に行く子どもが増えているため、対象が減ってきている。そうした中でも引き続き、対象の子どもに向けておはなし会を行っていく。

(図書館)

●1-10 若者の参画イベント

図書館プランナーが企画するイベントを行っていく。6月15日にアニメ化漫画を語るイベントを行った。7月12日には、「おいだよ！クトルッフの沼」というTRPG初心者向け講座を行う。

○「基本目標Ⅱ」について

(図書館)

●2-3 図書館、2-12 「みんなが読める本」の周知活動

本の充実…蔵書構成を踏まえ、実際に現物を確認し、内容を精査してから本を購入する。幅広いニーズに対応できるようにしていく。

みんなが読める本…点字やマルチメディアデイジー等があることを、必要としている子どもたち以外の人にも知ってもらうため、イベント等を通じて周知を行う。

(教育総務課)

●2-7 学校図書館の蔵書整備

作成した廃棄規準に慣れてもらうことが必要。十分な蔵書数があることや蔵書更新が適正に行われることが重要であると考えている。

(指導課)

●2-9 学校図書館の運営人材の確保

今年度から、1地区1人、学校を何校か掛け持ちする巡回型学校指導員を導入する。今の学校図書指導員はそのままで、図書指導員同士の連携を強化する。巡回型学校指導員は有資格者のため、学校図書の運営方法も確認してもらう。今後も拡大していきたい。

○「基本目標Ⅲ」について

(指導課)

●3-1 学校図書館担当者研修

昨年度と同様3回行う。すでに第1回目は行っており、2・3回目はモデル事業となる学校に赴き、先生方の横の連携も深めてもらう。

(図書館)

●3-3 市民向け絵本の読み聞かせ講座

●3-4 おはなし会ボランティアの養成講座

絵本の読み聞かせ講座は6月に一度実施済み。今までの内容だけでなく、紙芝居やわらべ歌に特化した講座も検討している。昨年度同様、ボランティア養成講座を行っていく。本日から募集開始した。

質疑応答

(大石委員)

ようやく巡回制度が動き出したのかという気持ち。ただ、年に7校ということなので、全部を回るのに何年かかるのかというのはある。図書館法上司書を置かなくてはならないのに、学校図書館には置いていないというのが現状。図書指導員が推薦図書の設置等工夫をしている図書室は、

◎情報交換	<p>やはり活気があると感じる。図書指導員が昼休みや放課後の少しの時間しかいられないというのが現状だが、夏休みはずっといえる等できれば理想。本を置く書架を含めて予算取りをしてほしい。</p>
	<p>(江上指導主事) おっしゃるとおりと感じている。どなたでもできる仕事ではないため、人材確保を行っていく。今年度は2地区でモデル事業として、巡回型学校指導員を導入した上で、来年度は、小学校全校実施。再来年度は、中学校全校実施を目指す。図書指導員の勤務時間についても含め、いただいたご意見を参考に、今後も取り組んでいく。</p>
	<p>(中嶋委員長) 皆様が行っている子どもの読書活動推進のために行っている工夫や、ご意見等をおうかがいしたい。</p>
	<p>(輪田委員) 学期末に2クラス合同で、紙芝居を行う予定。他学年では、「ステレオクイズ」というものが盛り上がったらしい。「ステレオクイズ」は、1つの単語を1文字ずつに分けて出題者が複数人で同時に発声し、解答者は聞こえてきた文字を組み合わせて何の言葉か当てるといった遊びのようだ。また、学校図書室に置いてある大型絵本と図書館から借りた大型絵本の活用や、紙芝居でよく使用される拍子木の用意をするなどの工夫をしている。</p>
	<p>(兼子委員) 小学校で2月に3、4年生向けに「あらしのよるに」の「まっくらバージョン」の読み聞かせを行った。「まっくらバージョン」とは、部屋を暗くして、雷を表現した光や雨音などを足したもの。終了後に、「あらしのよるに」が全7冊あることを伝えたら、図書室で争うように借りていったと聞いている。 バイリンガル絵本を用いたこともある。その時も、他にもこのような本がある(「スイミー」、「はらぺこあおむし」等)と紹介したところ、反応が良かった。</p>
<p>(松井委員) 昨年度同様各フロアに絵本を設置。0、1歳児クラスが歌詞付き絵本(歌詞がそのまま入っている絵本)を用いたりもしているが、最近店頭に並んでいる数が減ってきており、探すのが大変。また、大型絵本より大きい模造紙に絵を描いて読み聞かせを行ったりした。 高齢者施設の方に読み聞かせをお願いし、6月に4回ほど、お昼ご飯後の</p>	

お昼寝前の時間とおやつの時間の後で実施した。80代の方も参加してくれており、子どもたちの前で読むことをとても喜んでくれた。すごく良い機会になったと思っているので、今年度に限らず、次年度以降も続けていこうと考えている。

(長尾委員)

自分たちの活動の対象としているのは、赤ちゃんから小学3年生まで。1歳くらいで足が遠のく子もいるが、妹たちに連れられて、小学校低学年の子が来たりしている。犬や猫の視点についての本を、おはなし会で図書館の人が紹介したところ、子どもたちがとても興味を持っていた。本棚に置いてあるだけでは興味を持ってもらえなかったと思う。本を紹介して知ってもらうというのはやはり大事。語りという方法があり、耳で聴いて想像するというものだが、以前と比べて集中して聴くことができなくなっている子が増えていると感じている。今は、何でも画像等視覚からの情報が多いため、耳で聴くということも経験してほしい。

(福田(有)委員)

小学校高学年から中高生を対象に、活動を行っている。最近は放課後デイサービスで不登校支援も行っている。スマホを見る子が多く、本をめくる習慣がない子がほとんど。鶴川駅前図書館や旧鶴川団地図書館現「つるぼん」に連れて行ったり、ボランティアをさせたりして、本に触れてもらうきっかけ作りをしている。だれとも会話をする場所がない子にとっては、図書室は居場所となっており、本があることで、孤独を埋められる。それをきっかけとして本を読む習慣にもなっている。学校内の図書室というのは、いじめられている子、学校に居場所がない子や不登校の子にとって重要と感じている。

基本目標Ⅱに記載されている町田第一中学校図書室「ここまちベース」は、大変良い取組だと思う。このような取組をぜひ広げてほしい。

(吉成委員)

本が好きな子と本を手にとらない子がいる。6月に読書週間というものを行い、読み聞かせをし合ったり、同じ時間に読書タイムを取ったり、家庭で本を読んでもらう取組を行った。低学年の子の参加率が高かった。久しぶりに本を読んで、やはり本は良いと感じた子もいたようだ。多少強引でも、本を手にとってもらうきっかけは大事。季節ごとに飾り付けをする、季節にあった本を置く等、少しずつ工夫をしないと、本への食いつきが弱い子もいるので、工夫が必要。一回読み始めてみると、続きを読む等次につながっていくので、本に慣れることが大事。

(大石委員)

<p>その他</p>	<p>以前勤務していた中学校での話になるが、ビブリオバトルや図書フェスティバルを行っていた。大人に本を紹介してもらうと、子どもが興味を持っていた。奇をてらったイベントでなくても、興味は示してもらえる。以前、高校講師をしていたが、高校には司書がいて、図書委員会もその司書の方がやっていた。中学校の場合は、図書委員会の指導は教員がやっており、授業をたくさん持っている、図書指導員と打合せをする時間をあまり持たず、うまく連携できていない。図書指導員や司書教諭の知識を活かして、図書室の飾りつけや本の並べ方を工夫することが必要だ。図書室での POP 作成や本の並べ方については、書店のベストセラーの作り方（POP の作り方や並べ方等）を参考にすると良いと思う。</p> <p>事務局から次期の任期および次回会議開催予定の連絡を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
------------	--